


研究課題 (テーマ)		学外への学内情報発信のための映像データベースシステムの構築	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	情報システム工学科	教授	中野 慎夫
	情報システム工学科	助教	西原 功
研究結果の概要			
<p>学内での研究成果・大学祭などのイベント成果の様子を映像で学外に向けて情報発信できる状態にするための、映像データベースシステムを構築した。</p> <p>具体的には、11月から2月にかけて、映像データベースシステム自体を構築した。まずシステムの構成として、サーバを2台の仮想PCを含む、3台構成で検討した。1台は残る2台の仮想PCを動作させるために用意し、仮想PCはそれぞれ得意分野が異なるOSを動作させた。片方の仮想PCはWebサーバ等の常時動作に用いられるLinuxを搭載し、残る仮想PCには、動画をシームレスに扱うことが可能なWindowsを搭載した。そして、これらの2つの仮想PCを連携させることで、あらゆる動画を統一したフォーマットに変換し、なおかつ映像サーバとしての配信を実現した。これらの映像データベースサーバシステムを実際に構築したのち、3月からシステムの立ち上げを行った。</p> <p>大学の最新の様子を新規に撮影することが望ましかったが、諸般の事情によりこれまでに蓄積保存してきた過去の映像データベース内に存在する動画を全て登録し、これらの動画が問題なく再生されることを確認した。また、これらの動画を登録する際、どのような形態であっても、一部の例外を除き簡単に登録できることを確認した。</p> <p>現在、映像データベースサーバを学内からのみ参照可能となる状態で設置している。 (http://media.pu-toyama.ac.jp) 従って、学内であれば、本システムにより発信している映像情報を全て参照することが可能である。サーバの挙動に問題がないことが充分確認できれば、学外からの参照を論理的に学内からの参照と同じ状態に切り替えることで、富山県内のみならず全世界に向けた情報発信が可能となる。</p>			
			
		図：本システムのトップ画面	
今後の展開			
<p>今後、これらのシステムが安定的に運用でき、最新の映像を継続的に撮影・登録する仕組みが構築できた時点で、学外への公開を行う予定である。このことにより、学外への効果的な研究成果の情報発信が実行可能であり、学校の広報として機能できると考えている。</p>			